

01 目的

当社は2030年までの長期経営計画を掲げているが、その達成に向け、社員が心身ともに健康で最高のパフォーマンスで働くことが可能な状態を5年、10年スパンで「続けていく文化」を形成していくことが肝要であると考えているため。


02 課題・目標

健康経営で解決したい経営上の課題と効果



課題：① 従業員のパフォーマンス向上

健康経営で解決したい経営上の課題	健康上の問題によるプロジェクトからの離脱(アブセンティーズム)、高ストレスや体調不良等によるパフォーマンス低下(プレゼンティーズム)のリスクを低減すること
健康経営の実施により期待する効果	従業員が心身ともに健康で最高のパフォーマンスで働くことが可能な状態を5年、10年スパンで「続けていく文化」を形成していくこと。また、それにより各種健康課題のKPIを達成すること。

自社従業員(組織)の課題と目標 

●重点課題1  ⑩生活習慣改善(運動・睡眠・食生活等)に関する従業員の課題

課題内容 生活習慣病系疾患における健康層(服薬なし、健診基準値内)の割合が全国平均よりも大きく下回っていること。

目標

	数値	年度
メタボ健康層の割合(40歳以上)		
目標値	32.8%	2030

●重点課題2  ⑬生活習慣病等の疾病リスクを持つ従業員への重症化予防の課題

課題内容 生活習慣病系疾患における医療機関受診勧奨者の割合が全国平均を大きく上回っていること。

目標

	数値	年度
メタボハイリスク層の割合(40歳以上)		
目標値	14.8%	2030

04 健康経営の成果

経営上の課題に対する健康経営の成果

継続的に社内に対し健康経営施策を打ち出すことで、健康経営の重要性について、社員の意識作りは整ってきているほか、具体的な効果としては、健康経営上の重要テーマとしている「がん」について、健診受診率が増加してきている状況となっている(健診受診率(5大がん平均)【2020年度 73.0%】→【2021年度 87.1%】)。

03 施策・実績

健康経営の取り組み

●施策内容<重点課題1>



①筋肉量の増、②脂肪量の減、③歩数、をポイント化し、運動の習慣づけ及び生活習慣の見直しを促す社内イベントを開催。

メタボ健康層の割合(40歳以上)

	数値	年度
取組前実績値	8.9%	2019
現在の実績値	9.9%	2021

具的な実践内容1

分類	自社組織
名称	カラダ改善コンテスト
内容	社内で5人のチームを作ってもらい、2か月間の①筋肉量の増、②脂肪量の減、③歩数、をポイント化し、競うもの。
導入時期	2017年度
評価(定量・定性)	●凡そ社員の5人に1人が参加するイベントとなっており、参加者の半数以上が数値を改善している。歩数については、タイムリーに順位を確認できるようになっているため、日々の健康への意識付けや、チーム内のコミュニケーション活性化にも繋がっている。

取り組みにおける課題や困っていること

実施している施策の課題	会社として行動変容を促したいと考える社員への会社からのアプローチをどの程度まで強めるべきなのか、また自発的な行動変容に繋がるような施策はどういったものがあるのかについて課題感を感じている。
今後取り組みたい施策の課題	生活習慣病の疾病リスクを負っている社員に対し、具体的に「高血圧」「脂質異常」「高血糖」を改善させるためのプログラムについて今後導入していきたい。

●施策内容<重点課題2>



特定保健指導や重症化予防プログラムに該当する社員に対し、健康保険組合からだけではなく、会社としても受診勧奨を行っている。

メタボハイリスク層の割合(40歳以上)

	数値	年度
取組前実績値	36.4%	2019年度
現在の実績値	42.3%	2021年度